

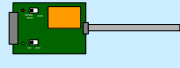
BN-1 C言語開発キット セットアップガイド

1. 内容物の確認

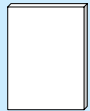
- (1) CD-ROM 1枚
- (2) インターフェイスボード+フラットケーブル(6ピン) 1枚
- (3) インターフェイスユニット接続シリアルケーブル(D-sub 9ピン)
- (4) 書類
 - ・「はじめにお読みください」
 - ・「セットアップガイド(本紙)」



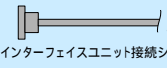
CD-ROM



インターフェイスボード+フラットケーブル(6ピン)



書類



インターフェイスユニット接続シリアルケーブル

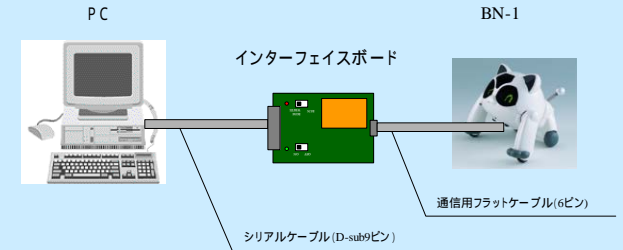
2. コンピュータにインストール

- (1) Cygwin (Windowsの場合)
CD-ROMの[Cygwin]にある「Setup.exe」をクリックし、画面の指示に従ってインストールを進めます。
インストーラが行う処理を選択するダイアログでは「**Install from Local Directory**」を選択します。
- (2) H8クロス環境
Shellを起動して、CD-ROMドライブの[BN1CDevKit]に移動します。
 - (i) Cygwinの場合Bashを起動して
 - ex) `$ cd_/cygdrive/q/BN1CDevKit [Enter]`
* ここではCD-ROMドライブをQドライブとします。
 - (ii) FreeBSD/Linuxの場合、普段お使いのterminalを起動して
 - ex) `$ mount_/mnt/cdrom [Enter]` (*お使いの環境により異なります)
`$ cd_/mnt/cdrom/BN1CDevKit [Enter]`次に「install.sh」を起動し、画面の指示に従ってインストールを進めます。
 - ex) `$ sh_install.sh [Enter]`
- (3) パスの追加
お使いのShellのPATHに /usr/local/h8/bin を追加します。

インストール方法の詳細は別紙「ユーザーズマニュアル」を参照下さい。

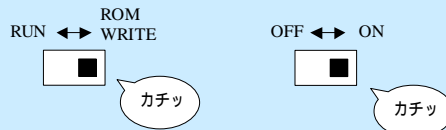
3. 機器接続

- (1) コンピュータとインターフェイスボードをシリアルケーブルで接続します。
- (2) インターフェイスボードのフラットケーブル(6ピン)をBN-1に接続します。



4. ファームウェアの更新

- (1) ファームウェアをBN-1のROMに書き込みます。
インターフェイス回路の**切替スイッチ**を「**ROM WRITE**」に**セット**し、インターフェイス回路の**電源**をONにします。



ターミナル(Windows版はCygwin)を起動します。
下記のコマンドで**ROMライター(trustwrite)**を起動し、**ファームウェアの更新**を行います。

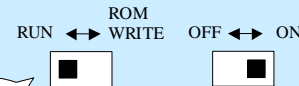
ex) `$ trustwrite_/usr/local/h8/share/firmware/capmon-v100.mot_c_COM1 [Enter]`

(但し、Windows版でシリアルポートがCOM1のとき)

5. サンプルプログラムの転送

カブリロモニター(capterm)を使って、サンプルプログラムをBN-1のSRAM領域に転送します。

インターフェイス回路の**切替スイッチ**を「**run**」に**セット**し、
インターフェイス回路の**電源**がONであることを確認してから、



カブリロモニターを起動します。

ex) `$ capterm_c_COM1 [Enter]`
(但し、Windows版でシリアルポートがCOM1のとき)

PCとBN-1の通信が確立すると、次のように表示されます。

ex) ようこそ BN-1 Monitor へ!
BN-1 Monitor:[1]

load コマンド でサンプルプログラム(testsound.mot)を**BN-1に転送**します。

ex) `load_/usr/local/h8/share/samples/misc/testsound.mot [Enter]`

6. サンプルプログラムの実行

カブリロモニターを使って、BN-1のSRAM領域に転送したサンプルプログラムを**runコマンド**で**実行**します。

ex) `run [Enter]`

BN-1が動き出します。
(testsound.motを転送した場合はBN-1から音が聞こえてきます。)



- (1) **カブリロモニターを終了**するには **quitコマンド** を実行します。